

病院の 実力

*兵庫編175

脳卒中

命を守る心得「FAST」

病院の実力「脳卒中」

医療機関別2021年治療実績
(読売新聞調べ)

医療機関名	脳梗塞			脳出血の新規入院 (件)	くも膜下出血の 新規入院 (件)
	新規入院 (件)	脳血栓溶解療法 (件)	血栓回収療法 (件)		
兵庫県					
順心	1156	39	37	201	41
大西脳神経外科	758	52	82	158	36
神戸市立医療セ中央市民	454	69	93	162	53
県立姫路循環器病セ*	407	30	19	112	36
長久	350	24	23	81	18
県立尼崎総合医療セ	344	11	35	101	29
兵庫医大	272	4	91	49	15
神鋼記念	214	5	40	37	26
関西労災	208	24	54	136	24
尼崎中央	201	17	0	48	4
姫路赤十字	196	16	8	78	30
JCHO神戸中央	195	10	20	46	13
県立淡路医療セ	175	10	25	75	18
加古川中央市民	121	2	4	41	12
製鉄記念広畑*	72	3	3	45	14
神戸大	67	4	12	23	20
西宮渡辺心臓脳・血管セ	35	24	10	51	30
県立加古川医療セ	28	1	0	13	2

「JCHO」は地域医療機能推進機構、「セ」はセンター。*県立姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院は2022年5月に統合し、県立はりま姫路総合医療センターになりました。

脳出血は、脳の細い血管が破れる。高血圧や動脈硬化が原因。くも膜下出血は、脳の血管が詰まる「脳梗塞」と、出血を起す「脳出血」と「くも膜下出血」の総称で、年間約30万人が発症する。一覧表では、2021年の治療実績を示した。

脳梗塞は、脳卒中の3分の2を占める。近年、二つの治療が普及し、救命率の向上や後遺症の軽減につながっている。「t-PA」という点滴薬で、血管に詰まった血栓を溶かす「脳血栓溶解療法」と、太ももの付け根の血管から脳まで細い管(カテーテル)を入れ、血栓を取り除く「血栓回収療法」だ。いずれも発症から早期の患者が対象だ。

今回は、脳卒中を取り上げる。脳の血管が詰まる「脳梗塞」と、出血を起す「脳出血」と「くも膜下出血」の総称で、年間約30万人が発症する。一覧表では、2021年の治療実績を示した。

「大西脳神経外科病院」(明石市)の大西宏之副院長(長45)(脳神経外科部長)に、脳卒中の早期発見の啓

大西脳神経外科病院 大西宏之副院長



「早期発見のためFAST(ファスト)を覚えてほしい」と話す大西副院長(明石市で)

搬送から治療時間短縮

化などの人に起きやすい。薬で血圧を下げるなど内科的な治療のほか、血液の塊(血栓)を取り除く手術を行うこともある。

脳動脈瘤が見つかった場合、破裂を防ぐ治療が検討される。脳卒中の治療は、一刻を争う。顔の片側のゆがみ、左右いずれかの腕に力が入らない、ろれつがまわらないなどの初期症状に早く気づくことが重要だ。顔(F

全国の調査結果は21日の「安心的设计面」に掲載しました。

「早期発見のためFAST(ファスト)を覚えてほしい」と話す大西副院長(明石市で)

発や病院に開設された専門の相談窓口について尋ねた。(聞き手・岡信雄)今年4月に一次脳卒中センターコア施設に認定された。24時間365日、脳卒中患者を受け入れ、速やかに診療を開始できる「一次脳卒中センター」として、2019年に日本脳卒中学会から認定されました。その上で診療実績を重ね、現在では4人の脳血管内治療専門医を擁しています。カテーテルを使った機械的血栓回収療法を常時できる体制を整えて、「一次脳卒中センターコア施設」になったのです。脳卒中の治療は時間勝負です。最先端の脳血管撮影装置を導入することで、患者が病院に搬送されてから

ace)、手(Arm)、言葉(Speech)に急な異変が一つでもあれば、症状が出た時刻(Time)を確認して119番する。自分や大切な人のために、脳卒中から命を守る心得「FAST」を知っておきたい。

早期発見のため、覚えておいてほしいキーワードは「FAST」。フェイス(顔)、アーム(手)、スピーチ(言葉)、タイム(時刻)です。顔のしびれや手の脱力、ろれつが回らなくなるなどした場合、脳卒中が疑われます。いまはコロナでなかなか難しいのですが、市民啓発のため、住民を対象に市民講座を開いたり、小学校で子どもたちに教えたりすることがあります。

早期発見をどう啓発しているか。

「早期発見をどう啓発しているか。」

治療開始までの時間が、従来の1時間程度から30分程度に短縮され、救命率も高まりました。